

ベーシックジムカーナについて

まず、ベーシックということですのでジムカーナ初心者が多いイベントであり、ジムカーの第一歩であると理解しています。もちろん、他にも入門、体験もありますが、これも含めて第一歩ということで理解しております。ですから、ジムカーナとはどんなのであるか、そして、GRAとはどんな会であるのか。

又は、どういう方向性の会であるかということをしっかり理解していただかなければならないし、私共も説明しなければならない（誤解のないように）と考えています。

まずは、この会には、お客様はいないということ、このことを強くアピールしなければならないと思います。一人が皆の為に働きかけ、皆が一人の為に働きかける。結果、一人はまわりまわって一人の為に働きかけることになるのです。ですから、この会は、一人一人の働きかけによって成り立っていることを強く認識してもらわなければならないと思います。

そして、初参加者にも、良い印象をもって帰って欲しいし、楽しく、バイクとつきあえる場であるように理解して欲しいと思います。こういったことを進めていけば、ライダーの中ではジムカーナに対する偏見は少なくとも少なくなるのではと思われます。

また、社会的には、良いイメージをもっていただけるように、誰でも見学出来るように会場入口に簡単な看板を設置してみたり、あるいは、案内書のような、パンフレットを作成して、会場で配布してみたりしてはどうかと思う。そして、参加者は、この活動についても一致協力していなければと思います。そして、また、別の案として、年に何回か決めて、献血に協力してみてはと考えている。（ベーシックにかぎらず、参加者に提案してもよいのでは？）これは赤十字団体への要請が必要であり、又、会場への乗入れが可能であるかどうかも現行では、わからないし、もう一つは参加者にお願いして、どれだけの方が、献血してもらえるのかも、わからないがGRAとして何か社会への貢献をしていかなければ、一般社会の認知度は、上がらないのではと考えます。

そして最後に、会場に対しては、もっと掃除の時間に草むしりとか、会場をきれいにすることを考えていくべきではないかと思う。現状では、汚さないように指導されているが、きれいにすることを、一步進んで考えるべきであると思います。

以上 鎌田 光夫